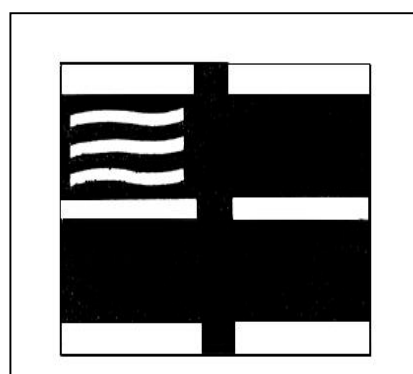
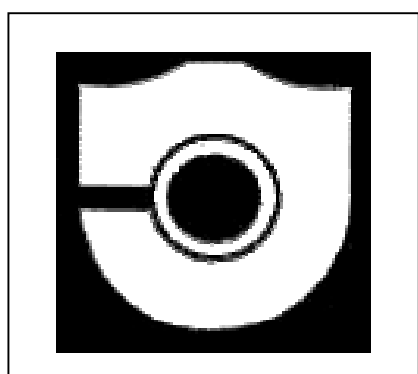


# 氏家町・喜連川町

## 合併協定調印式



日時：平成16年7月25日(日)

午前10時

式場：氏家町公民館ホール

# 氏家町・喜連川町合併協定調印式次第

- |              |   |  |
|--------------|---|--|
| 1、開式の辞       | 喜連川町収入役   | 竹田 通雄                                    |
| 2、経過報告       | 氏家町収入役  | 嶋原 清                                     |
| 3、協定書の概要説明   | 喜連川町教育長   | 角田 静雄                                    |
| 4、調 印        | 氏家町長<br>喜連川町長   | 秋元 喜平<br>滝 政夫                            |
| 5、立会人署名      | 合併協議会委員   |  |
| 6、挨拶 (1)主催者  | 氏家町長<br>喜連川町長   | 秋元 喜平<br>滝 政夫                            |
| (2)議会代表      | 氏家町議会議員<br>喜連川町議会議員   | 手塚 賢二<br>小堀 勇人                           |
| 7、来賓祝辞       | 栃木県知事<br>県議会議員<br>衆議院議員<br>衆議院議員<br>塩谷広域行政組合管理者<br>矢板市長<br>その他来賓者紹介 | 福田 昭夫<br>平池 秀光<br>西川 公也<br>森山 眞弓<br>遠藤 忠 |
| 8、名付け親認定証の授与 |   |  |
| 9、さくらの苗木贈呈式  |   |  |
| 挨拶           | (財)日本さくらの会 常務理事   | 蓮実 進                                     |
| 苗木贈呈         | 日本さくらの女王  | 望月 玲奈                                    |
| 10、閉式の辞      | 氏家町教育長  | 半田 明夫                                    |
|              | 司会進行 氏家町総務課長  | 岩田 光雄                                    |

# 氏家町・喜連川町合併協定調印式資料目次

ページ

## 合併協定調印までの経過

1	両町の概要.....	1 ~ 2
2	氏家町と喜連川町の沿革.....	3
3	両町における合併の研究と推進.....	4 ~ 8
4	法定合併協議会設置準備期.....	9
5	合併協議及び経過.....	10 ~ 14
6	住民への情報提供と議会活動.....	15
7	合併協議会事務.....	16

## 合併協定調印式出席者名簿

来賓.....	17
合併協議会委員等.....	17
両町議会議員.....	18
新市まちづくり住民会議委員.....	19
両町役職員.....	20
合併協議会事務局職員.....	21

## 氏家町・喜連川町合併協定書

合併協定書.....	22 ~ 39
------------	---------

## 調印式席次

調印式席次表.....	40
-------------	----

# 合併協定調印までの経過

## 1、両町の概要

### (位置と地勢)

氏家町と喜連川町は栃木県中央部のやや北東、県都宇都宮市に約 20 km と近接し、東京から約 120 km 圏内、鉄道で 1 時間 30 分、高速道路で 2 時間の位置にあり、首都圏と東北を結ぶ国道 4 号、東北縦貫自動車道、JR 東北線等の主要な国土連携軸上にあります。

両町は東西 15.6 km、南北 17.8 km、総面積は 125.46 km<sup>2</sup> で県土の 1.96% を占めます。その内、農地が 46.8%、山林が 21.5% を占めています。

### (産業)

両町は農林業、工業、商業、観光と比較的バランスのとれた産業構造となっています。

農業は、1 戸あたりの経営面積が県平均を上回り、水稻を中心とした麦・大豆等の土地利用型農業、肥育牛・養豚等の畜産の他、ハウス園芸・露地野菜・菌床しいたけ等の生産により、東京圏の食糧供給基地としての役割も担っています。

工業は、喜連川工業団地、蒲須坂工業団地を中心に自動車、機械、紙製品、金属加工、食品等の企業が立地しています。恵まれた地理的条件等から物流拠点としての機能も備えていますが、今後は研究開発拠点としての発展も期待されています。

商業は、郊外型大型店の進出により、中心市街地では既存商店街の空洞化現象が見られます。この対策の一つとして、駅前を中心に人々が集う観光施設整備やイベントの試行、情報技術の活用等により、商業形態に変化の兆しも見えつつあります。

観光は、温泉、清流等の豊かな自然、史跡や歴史的街並み、博物館、ゴルフ場等、豊富な資源に恵まれています。首都圏に近く手軽な観光地としての特性

を活かしつつ、農林業体験型観光や地元の人々とふれあえる観光等、特色ある観光づくりが求められています。

### **（両町の特性と課題）**

両町には、先人から受け継がれてきた丘陵、清流、動植物等豊かな自然が身近に存在しています。これらは住民ばかりでなく、都市部の人々や未来の人々にとってもかけがえのない財産です。この豊かな自然を次世代に引き継ぐため、ゴミの減量化や資源の再利用等住民による環境活動が一層求められ、行政としてもこれら活動への支援を強化するとともに、環境に配慮した取り組みを積極的に推進することが必要です。

また、両町には県指定文化財の古墳や不動明王、歴史的遺産である城址、由緒ある寺社が残され、祭礼等の行事が伝えられています。これらは地域のコミュニティ形成にも大きな役割を果たしており、大切に保存・継承していく必要があります。

なお、氏家町では、区画整理事業や民間による新興住宅地の分譲、一方、喜連川町では民間による大規模な住宅団地の分譲と、自然環境と調和した土地利用方針に基づき、快適な居住空間づくりを行ってきましたが、本格的な少子・高齢化社会を迎える今後は、一層地域に開かれた福祉行政の充実と、施設利用体制の整備等に努めることが求められています。

さらに住民と行政の関係も、審議会や協議会等各種行政委員会等へのさらなる住民参画を通じて、住民・行政の協働関係を構築する体制づくりが望まれます。

## 2、氏家町と喜連川町の沿革

### （氏家町）

氏家町はいつの時代でも幹線交通路が通過し、交通の要所として栄えて来ました。近代以降もいち早く鉄道や国道が整備され、国・県の出先機関が設置されるなど地理的条件を活かしながら発展してきました。

明治 22 年、町制施行により氏家町が成立し、昭和 29 年、熟田村との合併により現在の原型が誕生しました。その後いくつかの編入合併を経て現在に至っています。

### （喜連川町）

喜連川町は、中世には喜連川塩谷氏、近世は足利氏の流れを汲む喜連川氏の城下町及び奥州街道の宿場町として、近代以降は自然環境と温泉による観光と農林水産業により発展してきました。

明治 22 年、町制施行により喜連川町が成立し、昭和 30 年、上江川村との合併により、現在の姿となっています。

### （両町の連携）

両町の歴史は縄文時代まで遡りますが、奈良・平安時代にはみちのくと都を結ぶ東山道が両町を経由して下野国府へ通じていました。中世に入ると、氏家氏が鬼怒川左岸を支配し、喜連川塩谷氏は荒川沿岸を支配しました。江戸時代、氏家宿は阿久津河岸を控え、奥州街道や会津街道等が集中する交通の要所となり、喜連川は奥州街道・原街道を通じて氏家宿・阿久津河岸と直結していました。

このように、両町は古くから交通を通して生活・経済・文化的に緊密な連携があり、現在でも、通勤・通学・消費等の生活面をはじめ、様々な分野で深い関係が続いています。

### 3 両町における合併の研究と推進

#### ・ 氏家町における合併の研究と推進

##### (1) 合併の研究及び合併推進の経過

庁内合併研究会（平成14年2月～平成15年5月）委員16名により8回開催し、合併を有効な選択肢として検討し、情報収集、合併の必要性、メリット、デメリット等について、調査研究を行う。

町議会市町村合併研究会（平成14年5月～平成15年6月）全議員20名により構成し、合併について、調査研究を行う。

平成15年4月企画課内に政策係を新設させ、合併に関し専任体制をとり、塩谷地区合併研究会（1市3町）に参加する。

##### (2) 住民懇談会等の開催

###### 市町村合併懇談会

平成15年2月20日から3月3日まで、地域別に17会場で合併に関する懇談会を開催し約516名が参加

###### 氏家町市町村合併町民懇話会

平成15年7月設置。合併に伴い、新市建設計画を策定するうえで、その前提となる氏家町ランドデザインの素案を作成にあたり、町民各層や一般公募による50名の町民懇話会を設け、新市のまちづくりに関し町民の意見の集約と反映に努める。

##### (3) その他の啓発・調査活動

###### 広報うじいえ

平成13年度は合併に関する特集を5回連載（H14.1～H14.3）、平成14年度は2月15日号から連続2回で、合併パターン別シミュレーションを掲載

###### ホームページ

町ホームページに首長の合併に対する考え方を随時掲載し、合併にかける決意と合併の必要性を語りかける。

###### 講演会等

・平成15年7月31日 町観光協会主催

「市町村合併について」48名参加

・平成16年3月9日 町商工会主催

企業懇話会「さくら市誕生に向けて」67名参加

## 市町村合併に関する住民アンケート

- ・平成14年6～7月 全世帯に対し合併に関してのアンケートを実施  
回収率約73.3% 今後合併することに対し、賛成49%、反対10%、わからないが41%  
合併の相手先は、高根沢町・喜連川町との3町合併が大勢の結果
- ・平成15年2～3月地域座談会において、場内アンケート実施  
期限内合併に約64%が賛成、合併パターンでは、1市4町が約64%でトップ
- ・平成15年6～7月 2町合併に対するアンケートを実施  
全世帯対象に回答数5,963件(回収率74.2%)  
2町合併に賛成75.2%、反対18%、不明9.5%  
【合併に期待する内容】

活力ある産業の育成	28.8%
保健・医療・福祉の充実	28.4%

  
1市4町の合併担当者による情報交換会を組織  
平成14年5月～平成15年3月、合併に関する調査研究報告書作成

## ・喜連川町における合併推進の経過

### (1) 合併の研究及び体制整備

庁内行政推進研究会(平成13年9月～平成15年2月)委員12名により17回開催し、合併に関する基礎的な内容理解、メリット、デメリット、相手先と推定される市町の現況比較、合併パターンごとの国の支援の特例の試算等を行う。

町議会市町村合併調査研究特別委員会(平成14年6月～平成15年6月)全議員18名により構成し、合併について、調査研究を行う。

平成15年4月から、塩谷地区合併研究会(矢板市、塩谷町、氏家町、喜連川町の1市3町)に3名を参加させる。

### (2) 住民懇談会等の開催

#### 市町村合併に関する集落座談会

平成15年2月12日から3月4日まで、地区ごとに16会場で集落座談会を開催し約262名が参加

#### 関係団体意見交換会

平成15年2月27日に町に関係する各委員会や団体等の代表者との市町村合併に関する意見交換会を開催し約38名が参加



## 喜連川町市町村合併関係団体連絡会議

関係団体意見交換会を発展させて、喜連川町市町村合併関係団体連絡会議を組織し、新市への移行時に意見を反映できるよう取り組むこととした。

### (3) その他の啓発・調査

#### 広報きつれ川

平成13年度は、栃木県市町村合併推進要綱で示された合併パターン例を平成14年2月号に掲載、平成14年度から15年度にかけては市町村合併に関する特集を14回連載(H14.5～H15.6)

#### 市町村合併に関する住民アンケート

- ・平成14年3月 全世帯に対しアンケートを実施

回答率62.4% 今後合併することに対し、

賛成48.3%、反対15.4%、どちらともいえない34.4%、回答なし1.9%

合併の相手先として、

氏家町38%、高根沢町20%、矢板市16.4%塩谷町8.3%、宇都宮市2.5%、

- ・平成15年6～7月 2町合併に対するアンケートを実施

全世帯対象に回答数2,286件(回答率74.9%)

2町合併に賛成84.5%、反対14%、不明1.5%

#### 【合併に期待する内容】

保健・医療・福祉の充実 49.6%

道路等交通体系整備 46.2%

#### 1市4町の合併担当者による情報交換会を組織

平成14年5月～平成15年3月、合併に関する調査研究報告書作成

## ・両町をめぐる市町村合併の動き

H13 . 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県による合併パターンが示される</li> </ul>
H14 . 5 . 9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩谷地区 1 市 4 町で情報交換会を組織 矢板市、塩谷町、氏家町、高根沢町、喜連川町で合併に関する情報交換を行い、事務事業を比較する。</li> <li>・ 資料の作成に着手（ 1 2 月完成）</li> </ul>
H14 . 10 . 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩谷郡市町議長会情報交換会 塩谷地区 1 市 4 町の議長による市町村合併情報交換会の開催</li> </ul>
H15 . 2 . 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氏家町議会全員協議会 氏家町長「市町村合併は期限内に行い、枠組みは 1 市 4 町が望ましい」とする町執行部の方針を示す。</li> </ul>
H15 . 3 . 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 市 3 町の首長が、高根沢町長を訪問 1 市 4 町の合併実現に向けた要望</li> </ul>
H15 . 3 . 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合併協議会設置請求に係る通知及び意見照会（矢板市長より） 「住民発議による 1 市 4 町の合併協議会設立について」</li> </ul>
H15 . 3 . 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高根沢町長 矢板市長からの住民発議による 1 市 4 町の合併協議会設立については、議会に付議しない旨回答し、宇都宮市との合併協議を進めることを表明</li> </ul>
H15 . 3 . 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 氏家町長、喜連川町長 1 市 4 町の合併協議会設立について、議会に付議する旨、矢板市長に回答</li> </ul>
H15 . 3 . 26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩谷地区市町村議会議長会 高根沢町長に対し、1 市 4 町での合併実現を要請</li> </ul>
H15 . 4 . 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩谷地区合併研究会設置 塩谷広域圏による合併を検討するため、塩谷地区合併研究会を設置、1 市 3 町が参加</li> </ul>
H15 . 4 . 14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩谷地区合併研究会に参加している 1 市 3 町の首長会議</li> </ul>
H15 . 5 . 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩谷地区合併研究会より、1 市 3 町による合併協議会設立を定例会で議案としたい旨、各関係市町へ要請がある。</li> </ul>

H15.5.21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩谷地区合併研究会に参加している1市3町の首長会議 氏家町長「1市3町の枠組みについて、結論がでていない。もう少し時間をいただきたい旨」理解を求める。</li> </ul>
H15.5.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高根沢町の動向 議会全員協議会において、地域座談会の結果を受けて改めて、宇都宮地域との合併を推進する旨、町長説明</li> </ul>
H15.6.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氏家町庁議 喜連川町との2町合併を町執行部として方向性を決定</li> <li>・氏家町 課長・所属長会議 町執行部の方向性伝達</li> </ul>
H15.6.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高根沢町が宇都宮地区任意合併協議会へ参加</li> </ul>
H15.6.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氏家町議会全員協議会 氏家町長、平成17年3月までの合併特例法期限内に喜連川町との2町合併を目指すとする新たな執行部方針を表明、同日、喜連川町に対し、2町による合併研究会の設置申し入れる。</li> <li>・氏家町、全世帯に緊急アンケート配布</li> </ul>
H15.6.12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜連川町 課長・所属長会議 氏家町との2町合併を町執行部とすることを確認し、町執行部方針を決定</li> </ul>
H15.6.13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜連川町議会全員協議会 氏家町との2町合併の方向性を確認</li> <li>・喜連川町全世帯にアンケート配布</li> </ul>
H15.6.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氏家町議会市町村合併推進特別委員会において、喜連川町との2町合併の方向性を合意</li> </ul>
H15.6.25 ~7.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜連川町集落座談会を実施（6会場）</li> </ul>
H15.6.30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩谷地区合併研究会（1市3町）での活動を休止</li> </ul>
H15.7.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氏家町・喜連川町合併研究会設置</li> </ul>

## 4、法定合併協議会設置準備期

### 合併研究会の設置

氏家町と喜連川町は、自らの選択と判断のもとに自己責任での自治体運営が求められる中、住民に最も身近な総合行政サービスを提供する基礎的自治体としての重要性に鑑み、行財政基盤の安定が不可欠と考えていた。

そこで、両町は行政の主体的な取組みとして、平成15年7月1日氏家町・喜連川町合併研究会を設置し、事務局職員専従体制を組んだうえで、同月9日、第1回氏家町・喜連川町合併研究会を、同月22日、第2回の合併研究会を開催した。

### 【合併研究会における主な協議・検討内容】

平成15年7月9日 **第1回氏家町・喜連川町市町村合併研究会**

- ・合併研究会規約等

7月22日 **第2回氏家町・喜連川町合併研究会**

臨時議会議案の検討

- ・氏家町・喜連川町合併協議会の設置
- ・同協議会規約（案）
- ・平成15年度合併協議会予算（案）
- ・町一般会計補正予算（案）

第1回氏家町・喜連川町合併協議会における協議内容

その後、先に行ったアンケートの結果を分析した結果、2町合併の方針を町民が支持していただいたと判断し、氏家町が同月28日、喜連川町が29日、各々庁議において2町合併を確認し、また、町内における関係団体の長をもって組織する喜連川町市町村合併関係団体連絡会議、氏家町市町村合併町民懇話会を組織して2町合併の方向性を説明した。

さらに、7月31日、氏家町と喜連川町は議会全員協議会において合併アンケート調査の集計結果を報告し、氏家町議会市町村合併推進特別委員会、並びに喜連川町議会市町村合併調査研究特別委員会において、2町の合併を確認した。これにより、町民、議会、町執行部それぞれの2町合併の意思が確認された。

この結果を受け、8月4日に臨時議会を2町同時開催して合併協議会の設置、合併協議会規約、法定協議会関係の予算を議決した。翌8月5日に氏家町・喜連川町合併協議会を設置し、8月20日には第1回氏家町・喜連川町合併協議会を開催する運びとなった。

## 5、合併協議及び経過

平成 15 年 8 月 20 日の第 1 回氏家町・喜連川町合併協議会を皮切りに、現在まで 14 回が開催された。以下、各々の協議会における主な協議内容等は次のとおり。

### 【平成 15 年】

- 8 月 4 日 氏家町議会・喜連川町議会  
氏家町・喜連川町合併協議会の設置議決
  
- 8 月 5 日 協議会設置告示により、氏家町・喜連川町合併協議会設置  
・栃木県内では、法定で 6 番目の協議会になる。  
・事務局を氏家町鬼怒川河川公園管理棟に置く。
  
- 8 月 12 日 県への協議会設置届出と合併重点支援地域の指定申請  
・両首長が知事を訪れる。
  
- 8 月 20 日 第 1 回氏家町・喜連川町合併協議会（氏家町公民館）  
（報告） 氏家町・喜連川町合併協議会規約  
合併協議会専門部会設置規程  
新市まちづくり住民会議設置要綱  
（議案） 幹事会設置規程の専決処分の承認  
事務局規程の専決処分の承認  
財務規程専決処分の承認  
平成 15 年度事業計画  
平成 15 年度会計予算  
監査委員の選任同意  
（協議） 会議の開催及び運営にかかる申し合わせ  
合併協議の基本原則  
合併協定項目の設定  
新市建設計画の策定方針  
事務事業一元化の調整方針
  
- 9 月 3 日 第 2 回氏家町・喜連川町合併協議会（喜連川町公民館）  
（協議） 合併の方式  
・新設合併  
新市事務所の位置  
・氏家町役場を市役所とし、喜連川町役場を支所  
電算システムの取扱い
  
- 9 月 10 日 合併重点支援地域の指定

- 9月18日 第1回新市まちづくり住民会議  
両町の資源抽出  
両町の課題提起
- 9月21日 第2回新市まちづくり住民会議  
タウンウォッチング
- 9月30日 第3回氏家町・喜連川町合併協議会（喜連川町公民館）  
（協議） 財政検討小委員会設置要綱  
財産及び債務の取扱い  
一般職の職員の身分の取扱い  
特別職の職員の身分の取扱い  
条例・規則等の取扱い
- 10月2日 第3回新市まちづくり住民会議  
2町の現状と課題の整理
- 10月9日 第4回新市まちづくり住民会議  
新市のまちづくりの基本方針
- 10月28日 第5回新市まちづくり住民会議  
基本方針のまとめ  
首長及び幹事との意見交換会  
合併協議会幹事会への答申
- 11月5日 第4回氏家町・喜連川町合併協議会（氏家町公民館）  
協議会委員の変更  
退任 小川キシノ委員、中山 昭三委員  
就任 小堀 勇人委員、森 喜平委員  
（議案） 平成15年度合併協議会補正予算（第1号）
- 11月13日 合併協議会委員先進地視察研修（古河市、騎西町）
- 12月1日 第5回氏家町・喜連川町合併協議会（喜連川町公民館）  
（報告） 今後のスケジュール（新市建設計画住民説明会等）  
（協議） 公共的団体等の取扱い  
慣行の取扱い  
介護保険事業の取扱い
- 12月25日 第6回氏家町・喜連川町合併協議会（氏家町公民館）  
（協議） 新市の名称の選定  
・第1次候補12点から協議会委員による3回の予備  
選定及び本選定の結果、「さくら市」と決定

消防団の取扱い  
合併協定項目各種事業の取扱い細目

【平成 16 年】

- 1 月 14 日 第 7 回氏家町・喜連川町合併協議会（喜連川町公民館）  
（協議） 新市建設計画の中間報告  
地方税の取扱い（都市計画税・国保税を除く）  
事務組織及び機構の取扱い  
補助金・交付金等の取扱い
- 1 月 21 日 第 1 回首長会議  
（協議） 新市における組織・機構の考え方  
町名・字名の考え方（行政区の統合、住居表示等）  
市町村建設計画における合併特例債想定事業等  
合併協定調印式の日程
- 2 月 4 日 第 8 回氏家町・喜連川町合併協議会（氏家町公民館）  
（協議） 議会議員の定数及び任期の取扱い  
・新市の議会の議員の定数は 24 人  
・在任特例期間は平成 18 年 11 月 30 日まで  
地域審議会の取扱い  
国民健康保険事業の取扱い  
男女共同参画事業  
国際交流事業  
広報広聴関係事業
- 3 月 1 日 第 9 回氏家町・喜連川町合併協議会（喜連川町公民館）  
（協議） 消防防災関係事業  
窓口業務  
学校教育事業
- 3 月 11 日 第 2 回首長会議  
（協議） 合併の期日の検討  
保育事業、児童福祉事業等  
合併特例債事業の調整  
地方税の取扱い（都市計画税）
- 3 月 15 日 第 3 回首長会議  
（協議） 地方税の取扱い  
町名・字名の取扱い  
合併特例債事業の調整
- 3 月 15 日 合併住民説明会（15 日～26 日、延べ 14 回）

- 4月1日 合併の進行管理を行うため、事務局を氏家町役場内に移転
- 4月7日 第10回氏家町・喜連川町合併協議会（氏家町公民館）  
 （協議） 新市建設計画素案（合併特例債想定事業）  
 交通関係事業  
 生活保護事業  
 ごみ処理運搬業務事業  
 環境対策事業  
 建設関係事業
- 4月26日 第4回首長会議  
 （協議） 第2庁舎の建設位置について  
 新市事務組織及び機構の検討  
 町名・字名の取扱い  
 結婚相談員設置事業  
 新市移行準備想定経費
- 5月7日 第11回氏家町・喜連川町合併協議会（喜連川町公民館）  
 （協議） 地方税の取扱い（都市計画税）  
 農業委員会の委員の定数及び任期の取扱い  
 一部事務組合等の取扱い  
 納税関係事業  
 障害者福祉事業  
 高齢者福祉事業  
 児童福祉事業  
 保育事業  
 上水道事業  
 下水道事業
- 5月27日 第12回氏家町・喜連川町合併協議会（喜連川町公民館）  
 （協議） 使用料、手数料の取扱い（その2）  
 合併の期日  
 ・平成17年3月28日  
 行政区の取扱い  
 保健衛生事業  
 その他の福祉事業  
 健康づくり事業  
 農林水産関係事業  
 商工・観光・勤労者関係事業  
 社会教育事業  
 文化振興事業  
 コミュニティ施策  
 その他事業



- 6月1日 平成15年度合併協議会決算審査
- 6月9日 新市建設計画事前協議回答
- 6月24日 第13回氏家町・喜連川町合併協議会（氏家町公民館）  
協議会委員の変更  
退任 小堀 道正委員  
就任 黒崎 保委員  
（議案） 平成15年度合併協議会会計歳入歳出決算の認定  
平成16年度合併協議会補正予算（第1号）
- 6月30日 新市建設計画本協議回答
- 7月7日 第5回首長会議  
（協議） 市役所第2庁舎について  
合併準備経費補正予算査定  
新市事務組織・機構について  
合併協定調印式について
- 7月13日 第14回氏家町・喜連川町合併協議会（氏家町公民館）  
（協議） 新市建設計画  
合併協定書
- 7月14日 喜連川町議会全員協議会  
合併関連議案の事前説明  
合併準備経費補正予算
- 7月20日 氏家町議会全員協議会  
合併関連議案の事前説明  
合併準備経費補正予算
- 7月25日 氏家町・喜連川町 合併協定調印式（氏家町公民館）  
秋元氏家町長、滝喜連川町長が合併協定書に調印、協議会委員  
が立会い署名する。

## 6 住民への情報提供と議会活動

### ・広報などによる情報提供

#### 合併協議会だより

合併協議会 2 , 3 回ごとに合併協議会だよりを 6 回発行、全戸配布し、協議の状況の情報提供を行い、同時に毎回住民からの意見等呼びかける。

#### 広報うじいえ 広報きつれ川

合併協議状況のほか、合併についての特集を掲載して、合併協議への関心の高まりや合併の気運醸成を図る。

#### 合併協議会ホームページ

合併協議会の協議内容について、住民に対する説明責任の観点からも情報を全面的にオープンにして、随時迅速な更新と応答に心がける。

#### 報道機関への情報提供

住民に合併協議について、関心を有してもらうため、ことあるごとに資料を提供し、取材にも積極的に応じる。

### ・住民懇談会、説明会の開催（平成 1 6 年）

#### 氏家町・喜連川町合併説明会

新市建設計画構想案について、住民の意見・要望を集約するため住民説明会を開催する。同時に、新市のあらましと住民の暮らし、財政試算についても説明を行う。

氏家町... 3月15日から3月26日までの7会場で196名参加

喜連川町... 3月15日から3月24日までの7会場で137名参加

### ・議会における研究と審議

#### 氏家町議会

平成 1 5 年 6 月 2 5 日に市町村合併推進特別委員会を設置し、その後延べ 1 5 回の会議を重ね、住民生活に関わる様々な課題や合併を進める上で住民要望の反映に重点をおいて、合併協議会提案項目について論議する。

#### 喜連川町議会

議会として住民意向を十分に反映させるため、平成 1 4 年 6 月 2 1 日に市町村合併調査研究特別委員会を設置、2 5 回の会議を開催して調査研究及び合併協議会提案項目について論議する。

## 7 合併協議会事務

合併協議会では、協議会会議・まちづくり住民会議・財政検討小委員会のほか、次の各組織・会議により、提出案の策定及びその他事務の調整を行う。

### 首長会議

協定項目のほか、合併に関する重要項目について協議するため会議を5回開催する。

### 幹事会

協議会に提出する全ての協定項目の決定及び合併に関する重要項目の調整・協議のため、両町の収入役、教育長、総務課長及び企画課長の8名により、会議を16回開催する。

### 新市準備会議

合併準備を進めるにおいて、各種の調整が困難あるいは緊急を要する場合に機動的に会議を開催し、両町の総務課長、企画課長及び合併協議会事務局長の5名により会議を3回開催する。

### 専門部会、分科会

各種事務事業の洗い出しと協定項目の調整方針案を策定するため、課長職による専門部会を7専門部会、係長職による分科会を19分科会組織し、部門ごとに会議を開催する。

### 専門プロジェクトチーム

各課、各係に共通する特定事項について、協議・調整するために担当職員等による専門プロジェクトチームを組織・機構、庁舎建設、総合窓口化の3チームを組織し、調整研究及び提案を行う。

### 事務局

合併協議会全般の事務、合併申請及び新市の発足準備事務を遂行するため、両町の職員12名による事務局を氏家町役場内に設置し、事務を処理する。

### 職員研修

専門部会、分科会委員等でのほか、全職員に対して合併協議状況や新市建設計画についての説明を行い、協議会資料を協議会終了毎に、各課に配布し、情報の周知徹底を図る。

# 合併協定調印式出席者名簿

## 来賓

(敬称略)

役職名	氏名	備考
栃木県知事	福田 昭夫	総務部長 麻生 利正
栃木県議会議長	平池 秀光	副議長 広瀬 寿雄
衆議院議員	森山 眞弓	
衆議院議員	西川 公也	
塩谷広域行政組合管理者・ 矢板市長	遠藤 忠	
塩谷町長職務代理者	大島 忠	
高根沢町長	高橋 克法	助役 菊地 三夫
栃木県議会議員	菅谷 文利	
栃木県議会議員	手塚 功一	
栃木県議会議員	花塚 隆志	

## 特別ゲスト

(敬称略)

(財)日本さくらの会 常務理事・ 衆議院議員	蓮 実 進	
第20代日本さくらの女王	望月 玲奈	

## 合併協議会委員

(敬称略)

役職名	氏名	備考
合併協議会会長	秋元 喜平	1号委員
合併協議会副会長	滝 政夫	1号委員
合併協議会委員	嶋原 清	1号委員
合併協議会委員	竹田 通雄	1号委員
合併協議会委員	手塚 賢二	2号委員
合併協議会委員	黒崎 保	2号委員
合併協議会委員	櫻井 伸彰	2号委員
合併協議会委員	小堀 勇人	2号委員
合併協議会委員	森 喜平	2号委員
合併協議会委員	関 欣一	2号委員
合併協議会委員	菊地 崇雄	3号委員
合併協議会委員	君島 シヅ	3号委員
合併協議会委員	齋藤 正治	3号委員
合併協議会委員	高橋 晃一	3号委員
合併協議会委員	大野 喜四郎	3号委員
合併協議会委員	天野 順子	3号委員
合併協議会委員	大野 亮一	3号委員
合併協議会委員	西澤 守	3号委員
合併協議会委員	田村 澄夫	3号委員(県市町村課長)

## 合併協議会監査委員

(敬称略)

役職名	氏名	備考
監査委員	高橋 隆	氏家町監査委員
監査委員	八木澤 弘志	喜連川町監査委員

## 氏家町議会議員

(敬称略)

役職名	氏名	備考
氏家町議会議長	手塚 賢二	協議会委員
氏家町議会副議長	黒崎 保	協議会委員
氏家町議会議員	矢澤 功	
氏家町議会議員	櫻井 伸彰	協議会委員
氏家町議会議員	粕谷 伊平	
氏家町議会議員	神山 幸二	
氏家町議会議員	小野 都基	
氏家町議会議員	和知 勝夫	
氏家町議会議員	野澤 専十	
氏家町議会議員	佐藤 武久	
氏家町議会議員	見目 茂	
氏家町議会議員	小堀 道正	元協議会委員
氏家町議会議員	手塚 定	
氏家町議会議員	楠 利明	
氏家町議会議員	磯 憲明	
氏家町議会議員	田中 喜平	
氏家町議会議員	長嶋 博光	
氏家町議会議員	加藤 朋子	
氏家町議会議員	中野 光一	
氏家町議会議員	大橋 悦男	

## 喜連川町議会議員

(敬称略)

役職名	氏名	備考
喜連川町議会議長	小堀 勇人	協議会委員
喜連川町議会副議長	森 喜平	協議会委員
喜連川町議会議員	小川 キシノ	元協議会委員
喜連川町議会議員	桑久保 勝利	
喜連川町議会議員	関 欣一	協議会委員
喜連川町議会議員	大貫 一夫	
喜連川町議会議員	黒尾 和栄	
喜連川町議会議員	中山 昭三	元協議会委員
喜連川町議会議員	渡辺 好三	
喜連川町議会議員	渋井 康男	
喜連川町議会議員	角田 憲治	
喜連川町議会議員	石岡 祐二	
喜連川町議会議員	薄井 一男	
喜連川町議会議員	軽部 郷男	
喜連川町議会議員	小川 勝男	
喜連川町議会議員	黒崎 肇	
喜連川町議会議員	大貫 郁太郎	
喜連川町議会議員	菊地 毅	

## 名付け親受賞者

(敬称略)

役職名	氏名	備考
名付け親受賞者	広木 あずさ	氏家町在住
名付け親受賞者	竹田 泰紀	喜連川町在住
名付け親受賞者	竹田 祥貴	喜連川町在住

## まちづくり住民会議委員

(敬称略)

役職名	氏名	備考
まちづくり住民会議会長	石井 三雄	
まちづくり住民会議副会長	高瀬 忠男	
まちづくり住民会議委員	飯村 忠央	
まちづくり住民会議委員	荻原 スト	
まちづくり住民会議委員	田代 フミ	
まちづくり住民会議委員	野澤 文立	
まちづくり住民会議委員	小竹 利二	
まちづくり住民会議委員	村山 角冶	
まちづくり住民会議委員	手塚 芳徳	
まちづくり住民会議委員	小口 精一	
まちづくり住民会議委員	加藤 登	
まちづくり住民会議委員	吉澤 京子	
まちづくり住民会議委員	石原 幸子	
まちづくり住民会議委員	磯 良美	
まちづくり住民会議委員	稲澤 高明	
まちづくり住民会議委員	知公 千壽	

## 氏家町役職員

(敬称略)

役職名	氏名	備考
氏家町町長	秋元 喜平	会長
〃 収入役	嶋原 清	副幹事長
〃 教育長	半田 明夫	幹事
〃 総務課長	岩田 光雄	幹事
〃 企画課長	森田 一仁	幹事
〃 税務課長	笹沼 茂	
〃 会計課長	小倉 孝夫	
〃 住民課長	齋藤 充夫	
〃 健康福祉課長	遠島 信一	
〃 環境課長	樋山 隆久	
〃 農政課長	村上 幸一郎	
〃 建設課長	櫻井 秀昌	
〃 都市整備課長	秋元 一	
〃 下水道課長	青木 克之	
〃 水道課長	北条 健次	
〃 議会事務局長	山本 敏夫	
〃 農業委員会事務局長	鈴木 進	
〃 学校教育課長	岩崎 新一	
〃 生涯学習課長	佐藤 敏雄	

## 喜連川町役職員

(敬称略)

役職名	氏名	備考
喜連川町町長	滝 政夫	副会長
〃 収入役	竹田 通雄	幹事長
〃 教育長	角田 静雄	幹事
〃 総務課長	赤羽 邦夫	幹事
〃 企画課長	小林 友徳	幹事
〃 税務課長	笹沼 昭司	
〃 会計課長	網 栄	
〃 住民課長	角田 寿男	
〃 健康福祉課長	佐野 朝男	
〃 農林課長	斎藤 功	
〃 商工観光課長	石川 文雄	
〃 建設課長	小池 利一	
〃 上下水道課長	永井 実	
〃 議会事務局長	緑川 和則	
〃 学校教育課長	廣野 富男	
〃 生涯学習課長	瀬戸 浩也	

# 合併協議会事務局職員

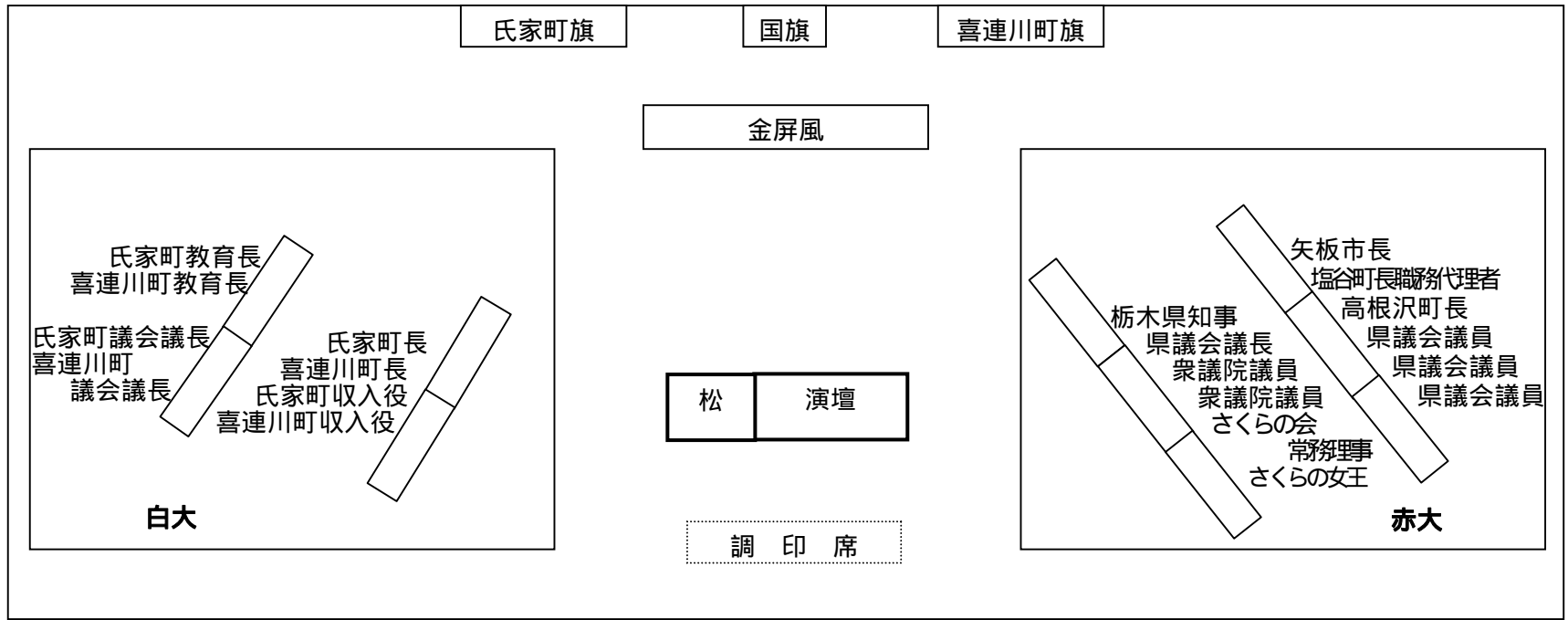
(敬称略)

役 職 名	氏 名	備 考
事務局長	大 木 陽 一	氏家町職員
事務局次長	斎 藤 徹	喜連川町職員
局長補佐兼総務班長	鈴 木 昭 一	氏家町職員
計画班長	君 嶋 福 芳	喜連川町職員
調整班長	添 田 和 弘	氏家町職員
調整班 主査	田 中 伸 行	氏家町職員
調整班 主査	斎 藤 雅 俊	喜連川町職員
計画班 主査	岡 村 秀 一	氏家町職員
総務班 主事	磯 貝 明 扶	喜連川町職員
調整班 主事	坂 巻 崇	喜連川町職員
計画班 主事	長 嶋 正 浩	氏家町職員
総務班 主事	高 柳 友 彦	喜連川町職員



# 調印式会場席次表

式典看板



司会  
司会補助

事務局席  
県・町職員席

協議会委員席	田村澄夫	高橋晃一	齋藤正治	君島シツ	菊地崇雄	櫻井伸彰	黒崎保		
	手塚定	小堀道正	見目茂	佐藤武久	野澤十夫	和知勝夫	小野都基	神山幸二	粕谷伊平
町議会議員席	大橋悦男	中野光一	加藤朋子	長嶋博光	田中喜平	磯憲明	楠利明		
	父兄	父兄	広木あずさ						
名付け親父席	手塚芳徳	村山角治	小竹利二	野澤文立	田代フミ	荻原又中	飯村忠央	高瀬忠男	
	村上幸一郎	樋山隆久	遠島信一	齋藤充夫	小倉孝夫	笹沼茂	森一仁	岩田光雄	
住民会議員席	佐藤敏雄	岩崎新一	鈴木進	山本敏夫	北条健次	青木克之	秋元一	櫻井秀昌	
	父兄	父兄	広木あずさ						

## 協議会委員誘導

森喜平	関欣一	大野喜四郎	天野順子	大野亮一	西澤守	高橋隆	八木澤弘志
小川キシノ	桑久保勝利	大貫一夫	黒尾和栄	中山昭三	渡辺好三	洪井康男	角田憲治
石岡祐二	薄井一男	軽部郷男	小川勝男	黒崎肇	大貫郁太郎	菊地毅	
竹田泰紀	竹田祥貴	父兄	父兄				
石井三雄	小口精一	加藤登	吉澤京子	石原幸子	磯良美	稲澤高明	知公千壽
赤羽邦夫	小林友徳	笹沼昭司	網栄	角田寿男	佐野朝男	斎藤功	石川文雄
小池利一	永井実	緑川和則	廣野富男	瀬戸浩也			

随行者席  
記録席  
報道関係者席

一般参加者席

